

コミュニティ・スクール 学校運営協議会だより

令和5年10月25日発行

教育目標

- ・自らすすんで学ぶ人
- ・健康で心豊かな人
- ・責任を果たす人

生徒数375名

立川市立立川第六中学校
校長 三浦 光義
立川市泉町786-16
TEL 042-537-3195
FAX 042-534-6954

URL <http://www.tachikawa.edu.jp/jh06/>

第2回学校運営協議会報告

日時：令和5年10月17日（火） 午後3時15分～午後4時

場所：本校1階 応接室

出席者：委員・事務局 全8名参加

- 1 三浦校長より
 - ・保護者評価の説明
- 2 分掌主任より（教務・生活・プラス）
 - ①教務部主任（原島主任教諭）
 - ・今後の主な予定
 - ・令和5年度立川市立立川第六中学校の進路指導における取り組み
 - ②生活指導部主任（河野主幹教諭）
 - ・立川市立立川第六中学校の生活指導について
 - ③六中プラス主任（田中雅主任教諭：巡回指導により欠席）
 - ・六中プラスの資料による概要説明
- 3 学校運営協議会委員の皆様より
 - 不登校の生徒数やその生徒への
 - 人数は、1学年は数人。2・3学年は各クラス複数人。保健室登校や別室対応をしている。来られない生徒は担任と Meet や家庭訪問などをおこなっている。不登校になった要因としては、学校まで遠い、クラスになじめないなど様々ある。
 - 1学期に中間考査がないのは、国の方針なのか。
 - 立川六中独自の方針。他にもやっている中学校はある。所見を三者面談に代えるなど教員の働き方改革の部分もある。
 - 落ち着いて授業に取り組んでいるようで良かった。
 - 砲丸投げの選手がいるのは珍しい。今後、伸びていくことを期待している。
 - 学校には部活は何があるのか。体育系・文系の割合なども興味で知りたい。
 - 部活の種類を紹介。吹奏楽の金賞はすごい。
 - 授業改善データについて、保護者にはなかなか伝わりにくい内容なのかもしれない。
 - 授業自体への評価は8割を超えているため、その8割の保護者は評価してくれていると思う。
 - 1学期中間考査削減の件や、下記のジャージ登校の件も、保護者に丁寧に説明していけば、理解されるはず。
 - いじめ不登校などの都のデータでは、いじめや暴力事件自体の全体数は増えているはずなのに、六中ではどうして減っているのか。
 - 六中生はのどかで内にこもる子が多く、いじめや暴力事件になるより、自分の内にこもることによって不登校になる子がいるのかもしれない。
- 4 その他
 - ◎立川六中創立50周年式典について

☆次回の日程

第3回

令和6年2月15日（木）午後3時15分～午後4時